

# JITAN PRESS

Vol.  
**12**

## 今年で58回目を迎えた大学祭 テーマは「Happy And Enjoy Carnival」

前日までのぐずついた天気が一転、さわやかな青空が広がった6月23日(土)・24日(日)に学生たちの祭典『第58回北海道自動車短期大学大学祭』が開催されました。

クラス対抗競技の“タイヤ交換タイムアタック”や恒例の“さくらんぼ種とばし”、爆笑を誘った“コーラ早飲み”、力自慢を競う“アームレスリング”などの数多くのプログラムが用意され、仲間の声援の中で汗を流す姿に会場は終日盛り上りました。

新鮮な野菜を格安で販売する丁酉会(同窓会)主催の“野菜市”は開店後30分で売り切れる人気ぶりでした。最後は地域住民に大人気の“大bingo大会”開催。参加者が豪華な景品を手にするたびに大歓声が上がるなど多くの来場者でぎわった2日間となりました。



## 札幌モーターショー 2012を後援! 北海道ハンドメイドエコカーコンテスト2012でも入賞!

「クルマの未来、北海道に集結。」をテーマに2月17日(金)から19日(日)まで札幌ドームで開かれた『札幌モーターショー2012』を本学が後援しました。

札幌モーターショー当日は、家族連れを対象にした“モーター・カルチャー広場”で、学生フォーミュラ研究会のメンバーが中心となって「ピットクル一体験」や「電気自動車を作ろう」「キッズ自動車デザイン工房」を開催。小さなお子さんからお父さん、お母さんまでたくさんの来場者でぎわいました。事前には本学施設を利用して中学生を対象にした「電気自動車教室」も行われました。

また『北海道ハンドメイドエコカーコンテスト2012』には自動車工学専攻とソーラーカー研究会が出品し、それぞれ優秀賞とグッドプレゼンテーション賞に輝きました。



「ピットクル一体験」では、主に女性や子供が初めてのタイヤ交換に挑戦して悪戦苦闘していました。



「北海道ハンドメイドエコカーコンテスト2012」に自動車工学専攻2年生が出品した“JKS12”は優秀賞を受賞しました。



ソーラーカー研究会のEV車“FG-1”、グッドプレゼンテーション賞を受賞。きれいな車体で会場の注目を集めました。



自動車の絵が描かれたブラー板に好きな色を塗ってキーホルダーに仕上げる「キーホルダー製作」は小さなお子さんに大人気でした。



# 平成24年度就職活動状況中間報告

ハイブリッド車や電気自動車の普及に加えて、エコカー減税や補助金などで新車の販売台数が伸びている自動車業界は順調に業績回復している企業が多く、それに伴って本学に寄せられる求人の数も増えているのが現状です。特に最新の知識・技術が求められる自動車整備士は世代交代の時期を迎えており、例年にも増して早い時期から本学への問い合わせが増えています。



日常生活の中で、  
コミュニケーション力を磨くことが重要です。

就職支援部長  
長谷 渡



例年6月末から就職に関する学生の活動をカウントし始めますが、今年は最初のカウントですでに昨年よりも10ポイント程度高い数字を示しています。これは、道内外の多くの企業が積極的に採用を進めているということであり、最終的にはほぼ100%の学生が就職できるのではと期待しています。

そうはいっても、どんな学生でも希望の就職ができるというわけではなく、やはり企業側

の求める人材にふさわしい人間になるということが大切です。技術・知識の面では“電気に強い人材”というのが一つのキーワードになっていますので、本学でもそれに対応したカリキュラムを組んで教育しています。

特に1年生の保護者の方々にお願いしたいのは、学生をコミュニケーション能力のある人材に育てるために、まずご家庭できちんと会話をしてほしいということです。

最近はメールやチャットで顔を見ずにコミュニケーションできる時代

ですが、社会では通用しません。仕事に就いたときに求められるのはお客様や上司、職場の仲間とコミュニケーションすることができる力です。これは一朝一夕で身につくものではなく、日頃の生活の中で養われていくものだと考えます。

また2年生になって実際の就職活動が始まると、いろいろなプレッシャーもかかるかと思います。精神面でのフォローもぜひお願いしたいところです。



## 合同企業説明会開催

2月6日(月)にホテル札幌ガーデンパレスにて1年生を対象にした本学独自の『合同企業説明会』を開催しました。参加企業数は78社で、学生たちは各企業のブースを回り、採用担当者に熱心に質問する姿が見られました。



## 平成23年度卒業証書・学位記並びに修了証書授与式&平成24年度入学式

3月15日(木)に『平成23年度卒業証書・学位記並びに修了証書授与式』、4月5日に『平成24年度入学式』を、どちらもホテル札幌ガーデンパレスにて執り行いました。

平成23年度の卒業・修了生は自動車工業科第一部120名、第二部31名、専攻科自動車工学専攻7名、車体工学専攻18名で、大きな期待を胸に社会へと巣立ちました。平成24年度の入学生は自動車工業科第一部128名、第二部21名で、決意も新たに希望に満ちた新生活をスタートさせました。

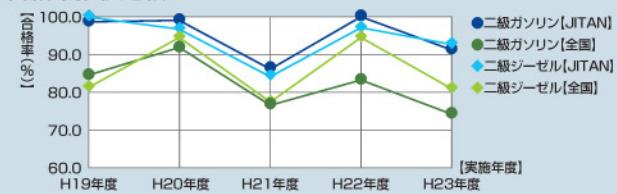


## 平成23年度 二級自動車整備士合格率発表

二級自動車整備士(ガソリン)  
合格率 **91.5%**

二級自動車整備士(ジーゼル)  
合格率 **93.8%**

合格率推移比較 (自動車整備技能登録試験) ※過去5年間の実績



毎年、全国平均を上回る高い合格率を誇っている二級自動車整備士試験ですが、昨年度もガソリン、ジーゼルともに90%を超える合格率となりました。まもなく整備講習が始まりますが、今年度も全員合格をめざし、頑張る所存です。

# 平成24年度前学期 成績優秀奨学生などが決定

学業成績・人物ともに優秀な学生に奨学金を給付する本学独自の前学期成績優秀奨学生などが決定しました。

本学の奨学金には2年次・専攻科生を対象に、学業成績・人物ともに優秀な者に給付する『成績優秀奨学金』(各期自動車工業科第一部14万円、第二部8万円、自動車工学専攻11万円、車体工学専攻9

万円)、学業成績・人物ともに優秀かつ健康であって、著しく学資の支弁が困難な者に年額12万円を給付する『給付奨学金』、今年度から新規設立された学業成績・人物ともに優秀な自宅外学生であって、経済的理由により修学困難な者に月1万円(年額12万円)を支給する『北海道尚志学園奨学金』の3つの制度があります。

**入学時から目標にしていましたので、努力を認めていただいて本当に光栄です。**

自動車工業科第一部2年  
**福島 宏太さん**(写真:前列左)

『成績優秀奨学金』という制度があるのは入学時から知っており、選ばれることをずっと目標にしてきました。実際に決まったという連絡をいただいたときは本当にうれしかったです。

2年次になって授業・実習ともに難易度が増してきましたが、日々の学修を怠ら



ず、後期も選ばれることを目標にして、頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 本学の教学体制再構築ならびに キャンパス再整備計画について



学長・博士（工学）  
**能戸 正**

先日来、北海道尚志学園において北海道薬科大学を北海道工業大学キャンパス内に移転、将来的には両大学の統合も視野においた準備が進められています。

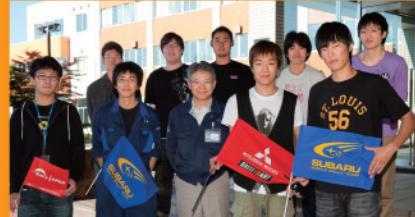
本学においては、大学名称を『北海道工業大学自動車短期大学部(仮称)』に変更します。変更の時期は北海道工業大学の改組計画に合わせ、適切な時期を選択します。

また自動車工業科第二部(夜間課程)および専攻科自動車工学専攻(2年課程)については、いずれもその社会的役割を全うしたものと考え、平成26年度に学生募集を停止することといたしました。

自動車工業科第一部および専攻科車体工学専攻(1年課程)は「学びの質を高め、優れた学生を育成すること」を目標に北海道工業大学と連携し、教学体制再構築とキャンパス再整備を推進します。

今後の予定につきましては逐次ホームページなどでお知らせいたします。

## CLUB & CIRCLE クラブ・サークル紹介 **モータースポーツ研究部**



ラリーやレースなどモータースポーツ大好き人間が集まっている『モータースポーツ研究部』では、オフィシャルボランティア活動の他、いろいろな大会にも参加しています。

### 2012 JAF全日本選手権 「オールジャパンジムカーナ」に オフィシャルボランティアとして参加!

自動車工業科第一部1年 **近藤 大貴さん**

6月17日(日)にオートスポーツランド砂川で開催された『オールジャパンジムカーナ』にオフィシャルボランティアスタッフとして参加してきました。私はバドックからコースへの誘導係だったので、通常見ることのできないレース車両を間近で見られて、とても楽しかったです。

次は9月に帯広で開かれる『ラリー北海道』に参加する予定ですが、今からワクワクしています。



### ガルルカップエンデューロ第3戦で 総合3位、クラス別3位入賞!

自動車工業科第一部1年 **高瀬 潤さん**

モトクロスは幼稚園の時からやっていて、いろんな大会に参戦しています。6月24日(日)のガルルカップエンデューロ第3戦は第1戦、第2戦と欠場してしまった上、前日の雨でコースのコンディションが悪かったのですが、なんとか3位入賞することができました。

今後の目標は、とりあえず10月の第7戦までフル出場すること。そのなかで総合優勝できれば最高だと思っています。



## 『いのちのパネル展』開催

5月21日(月)から25日(金)まで本学で『いのちのパネル展』を開催しました。事故の悲惨さを知ってもらい、交通安全の意識向上を目的として交通事故の遺族、被害者の『もう誰にも悲しい思いをしてほしくない』という思いを感じる『いのちのパネル展』は、「北海道交通事故被害者の会」が主催し、道内各地で開催しているものです。

観覧した学生たちは将来自動車に関わる仕事に就く人間として、交通事故の悲惨さを認識し、交通安全の意識向上とより安全な自動車づくりに取り組む決意を新たにしていました。



### 研究 生 紹 介



木村紀貴さん  
自動車工業科第一部  
平成16年度卒業

### 寒冷地仕様のEV車を研究しています

在学中もソーラーカー研究会に在籍して、『スリスVII』というソーラーカーの製作に携わってきました。卒業後も休日や仕事の後などに大学に来て後輩を指導していましたが、今年の4月からは研究生として、寒冷地仕様のEV車の開発に取り組んでいます。

現在は今年2月の札幌モーターショーに出展した『FG-1』というEV車をより乗る人に優しく、長距離を安定走行できるように改良しています。8月末には美唄で実際に走行させ、いろいろなデータ収集をする予定です。その結果を踏まえてさらに研究し、来年の学生研究発表会で発表したいと思っています。



### 『セーフティラリー北海道2012』に参加

6月29日(金)、本学でセーフティラリー開会式を行いました。学生、教職員の交通安全意識を高めるため、毎年参加している『セーフティラリー北海道』ですが、今年は213名、61チームが参加し、7月1日(日)から10月31日(水)まで学生・教職員が一丸となって期間中の無事故・無違反を目指します。



### モンゴルから職業教育学校関係者の視察団来学



7月2日(月)、モンゴルの職業教育学校の関係者が本学を視察しました。この視察は、NPO法人モンゴル教育交流協会からの受入協力依頼で実施されており、今回で4回目になります。当日は学長挨拶、双方の出席者の紹介、学科長による大学紹介が行われた後、本学の最新の実習設備と機器を中心に施設見学が行われました。

## Event Calendar

8月 1日(水)～3日(金)	前学期定期試験
5日(日)	JITAN☆FESTA
12日(水)	後学期ガイダンス
13日(木)	後学期始講
9月 15(土)～17日(月)	アーク溶接特別講習
23日(日)	保護者懇談会(本学)
30日(日)	保護者懇談会(地方)
10月 12日(金)	第一部・専攻科 体育大会
27日(土)～28日(日)	ガス溶接技能講習
11月 3日(土)	公開講座
10日(土)	専攻科推薦2期、一般1期入学試験
12月 21日(金)	冬季休業前終講
22日(土)	冬季休業開始
15日(火)	冬季休業明け始講 (第一部・専攻科)
24日(木)～25日(金)	2年後学期定期試験
1月 25日(金)	[午前]就職特別講演会 [午後]学生研究発表会
29日(火)	合同企業説明会
30日(水)～2月1日(金)	1年後学期定期試験
2月 2日(土)	専攻科 一般2期入学試験
4日(月)	進級・卒業・修了生発表
3月 15日(金)	卒業式・卒業記念パーティ
24日(日)	自動車整備技能登録試験

### 平成24年度 保護者懇談会を開催します

9月23日(日)は本学にて、9月30日(日)は旭川・北見・釧路会場にて平成24年度保護者懇談会を開催します。

最新の就職状況や進学状況、学修の様子などをお伝えしますので、ぜひご参加ください。

### 北海道自動車短期大学 広報誌

# JITAN PRESS

[ジタンプレス]

平成24年8月3日発行(第12号)

発行／北海道自動車短期大学

編集／北海道自動車短期大学 入試広報部